

米原市立小中学校の在り方に関する検討委員会
委員長 様

米原市教育長 一ノ宮 賢 了

諮 問 書

本市における学校教育の充実に向け、米原市立小中学校の在り方について、下記の事項を諮問します。

記

諮問事項

- (1) 米原市立小中学校の適正な学校規模および学校配置等に関する計画策定にかかる基本的な考え方について
- (2) 前号に掲げる適正化のための具体的な方策について
- (3) 魅力ある学校づくりと教育環境の整備方針について
- (4) 学校統合等を行う場合の地域コミュニティとの連携および校舎跡地の活用について
- (5) その他、市立小中学校の在り方に関し必要な事項

諮問の理由

本市の義務教育環境を取り巻く状況は、少子高齢化に伴う児童生徒数の減少や、加速度的な人口減少社会の到来により、大きな転換期を迎えています。

学校は、児童生徒が学習のみならず、多様な他者との交流を通じて社会性を育む場であり、教育効果を最大限に高めるためには、適切な学校規模と良好な教育環境の維持が不可欠です。しかしながら、一部の学校においては小規模化が進んでおり、集団の中での学び合いや切磋琢磨する機会の確保、教職員の適正な配置など、教育活動の充実を図る上で課題が生じています。

また、近年の GIGA スクール構想による ICT を活用した学習の推進や、学校施設の老朽化に伴う維持管理・長寿命化への対応など、学校や教育委員会に求められる事項も変化しています。

これらの背景を踏まえ、本市の子どもたちにとって真に望ましい教育環境を確保し、一人ひとりの資質・能力を最大限に伸ばす質の高い教育を実現するため、学校の適正規模、適正配置、および地域と共にある学校の在り方について、貴委員会の広く専門的かつ客観的な見地からの御意見、御提言をいただきたく諮問します。

答申を希望する時期
令和 10 年 3 月頃

以上